

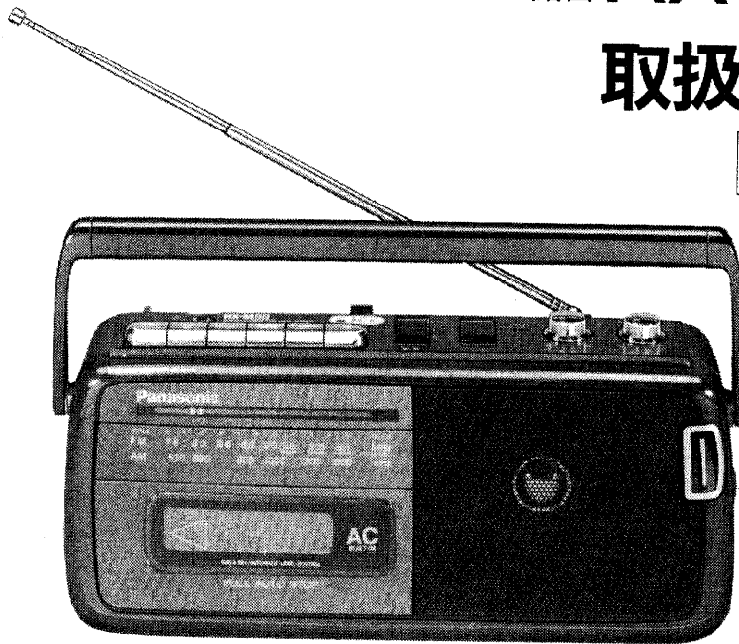
Panasonic

ラジオカセットレコーダ

品番 **RX-M50**

取扱説明書

保証書別添



このたびは、パナソニック「ラジオカセットレコーダRX-M50」をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

目次

電源	2	お手入れのしかた	12
主な操作	3	電源の注意	13
各部の名称と働き	4	安全使用のために	14
ラジオ・TV(1~3チャンネル)を 聞くには	6	故障!?と思う前に	15
テープを聞くには	8	アフターサービスについて	15
カセットテープについて	9	定格	裏表紙
録音をするには	10		

上手に使って上手に節電

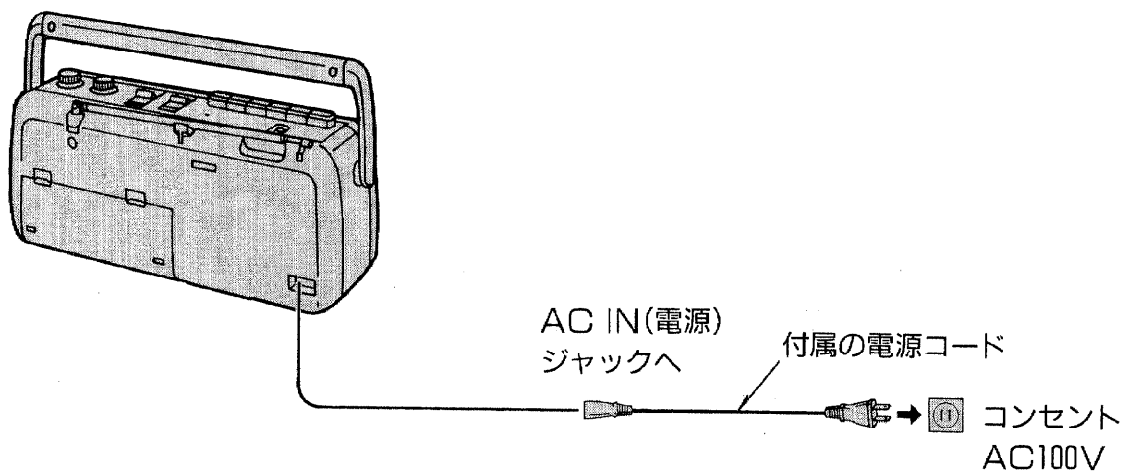
あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

- 取扱説明書と保証書は、よくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証書は必ず「販売店名・購入日」等の記入を確かめて、販売店からお受取りください。

電源

家庭用電源(AC100V)

電源コード(付属)を下図のように接続します。



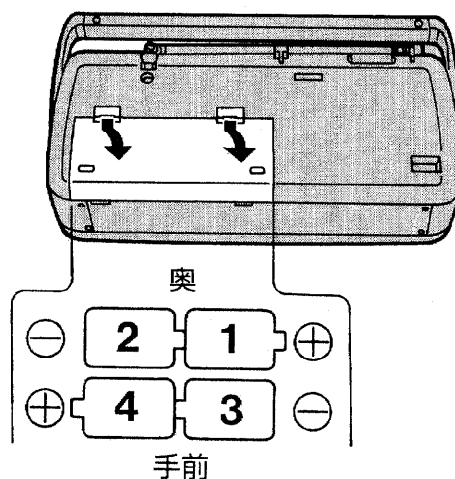
乾電池で使用するとき 使用乾電池：単一形乾電池(R20P/LR20)4個

1 乾電池ケースふたを開けます。

2 別売りの乾電池を入れます。

- ・ $\oplus$ $\ominus$ を正しく番号順に入れます。
- ・奥の乾電池を取出すときは：
番号2の $\ominus$ 側を強く押すと $\oplus$ 側が
浮き上がり容易に取出せます。

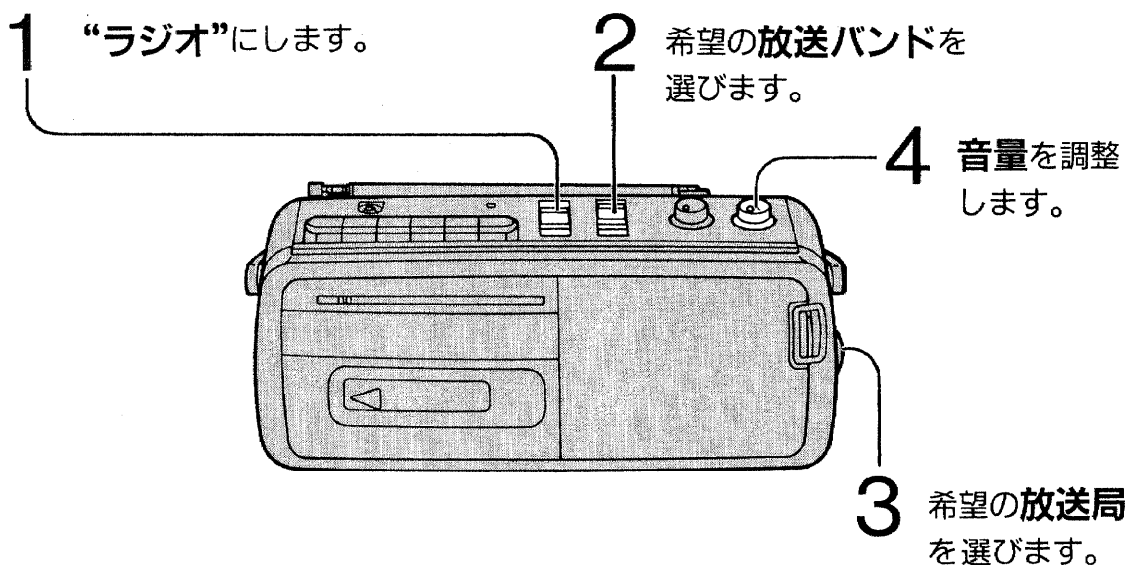
3 乾電池ケースふたを閉めます。



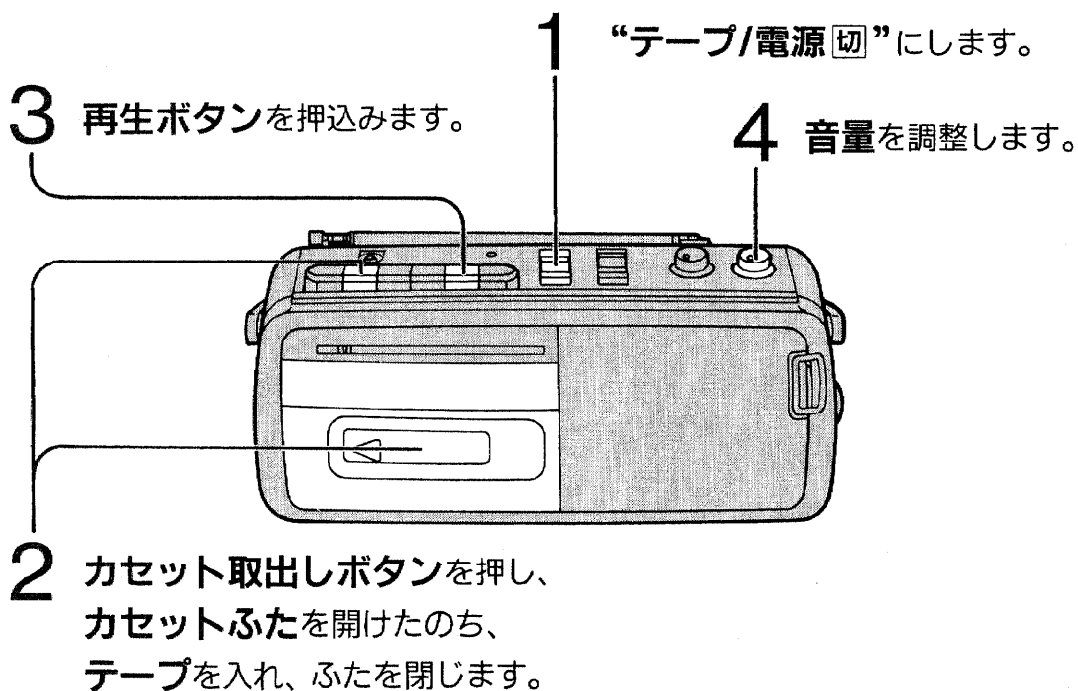
“電源の注意”(P13ページ)と“安全使用のために”(P14ページ)を必ずご覧ください。

主な操作

ラジオ・TV(1~3チャンネル)を聞くには (詳しくは8ページ)



テープを聞くには (詳しくは8ページ)



各部の名称と働き

動作切換スイッチ ●

“テープ/電源切”、“ラジオ”を操作に応じて切換えます。

使用後は、必ず“テープ/電源切”にしておいてください。

電源/電池インジケータ ●

イヤホンジャック ●

イヤホンでお聞きになるときは、耳を刺激するような音量で長時間お聞きになることは避けてください。

(左側から)

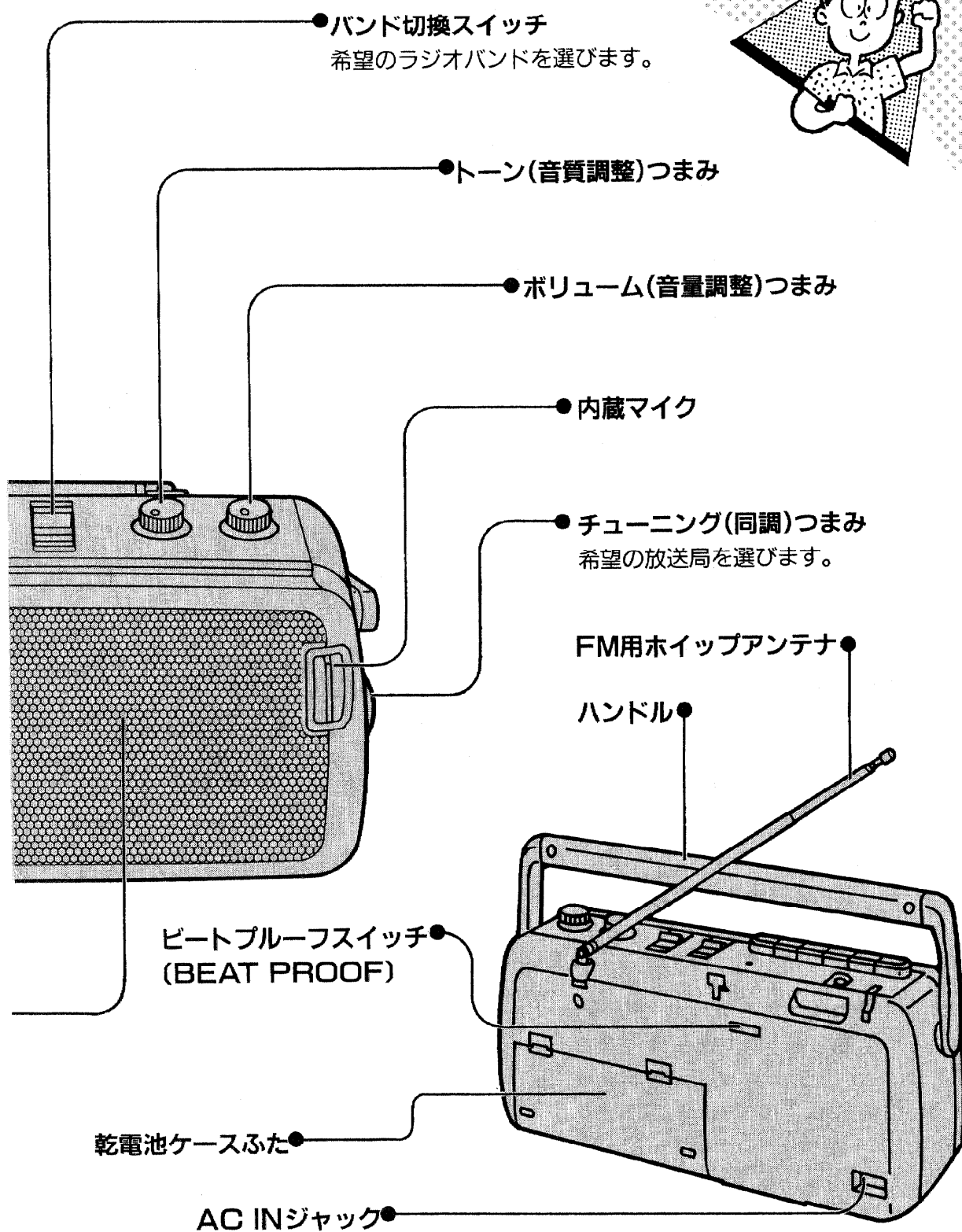
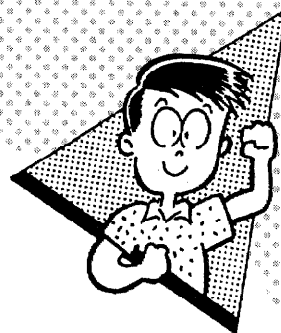
- …… 一時停止ボタン
- …… 停止/カセット取出しボタン
- ◀ …… 早送り/頭出しボタン
- ▶ …… 巻戻し/くり返しボタン
- ◀ …… 再生ボタン
- …… 録音ボタン

カセットふた ●

スピーカ ●

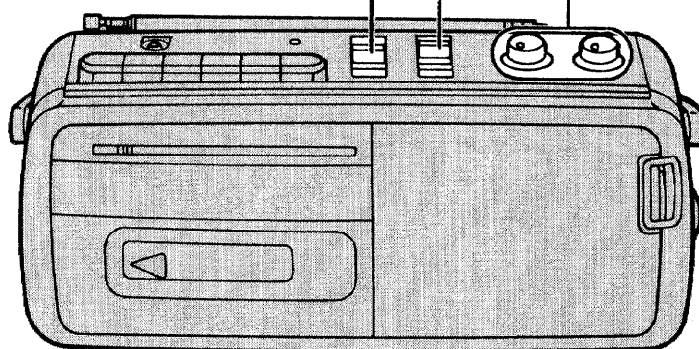
別売りアクセサリ

- ヘッドクリーニングキット…(RP-919)
- イヤホン……………(RP-HV20)



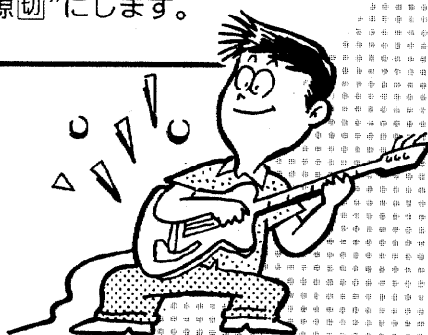
ラジオ・TV (1~3チャンネル) を聞くには

- 1 “ラジオ”にします。
(電源/電池インジケータが点灯します。)
- 2 希望の放送バンドを選びます。
FM: FM放送
: テレビ放送の1-3チャンネル
AM: AM放送
- 3 希望の放送を選びます。
- 4 音量、音質を調整します。



●聞き終ったときは、動作切換スイッチを“テープ/電源切”にします。

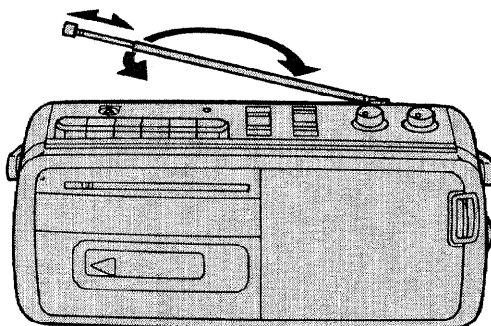
- テレビ放送を選局するとき、すぐ近くにテレビがある場合、画面に影響を与えることがありますが異常ではありません。このような場合は、テレビからできるだけ離してご使用ください。



■アンテナの調整

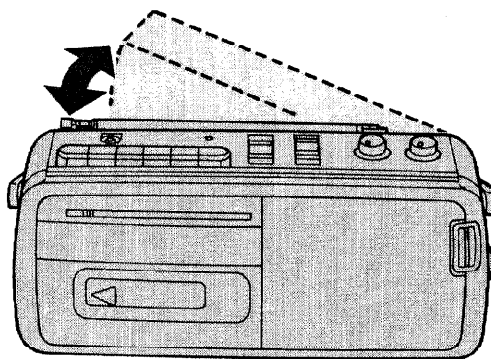
放送をきれいに受信するためには、アンテナを上手に調整することが大切です。

●FM放送を聞くととき



FM用ホイップアンテナを引伸ばして調整してください。

●AM放送を聞くととき

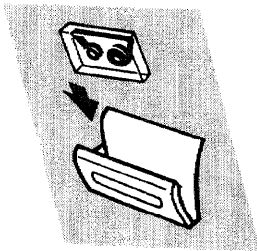
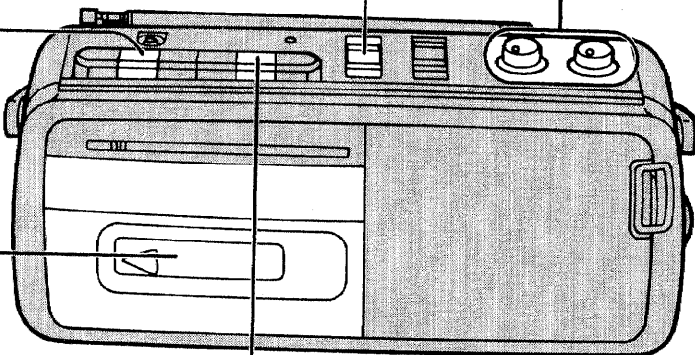


本機の向きを変えて調整してください。

- 乗物や建物などの中では、電波が弱まり聞こえにくくなることがありますので、できるだけ窓ぎわでお聞きください。

なお、トンネル内や地下鉄など電波の弱い場所では聞こえないことがあります。

テープを聞くには

- 1 “テープ/電源切”
にします。
 - 2 停止/カセット取出しボタン
を押し、カセットを入れます。

 - 3 再生ボタンを押込みます。
(電源/電池インジケータが
点灯します。)
 - 4 音量、音質を
調整します。
- 

●テープを止めるときは、停止/カセット取出しボタンを押します。



カセットテープ について

■フルオートストップ

テープ走行中に終端までくると、押込んでいたボタンが自動的に元に戻り、テープ走行が停止します。

■早送り・巻戻し

停止中に早送りボタン(◀◀)または巻戻しボタン(▶▶)を押すとテープは急速に早送りまたは巻戻しされます。停止/カセット取出しボタンを押すと、テープが止まります。

■頭出し/くり返し

再生中に、早送り/頭出しボタン(◀◀)または巻戻し/くり返しボタン(▶▶)を押すとキュルキュルという音を聞きながらテープを早送り/巻戻しをすることができます。

■一時停止ボタンの使いかた

録音や再生中に、一時的にテープを止めたいときにこのボタンを押します。再度押すと、テープが走行します。

録音時には、あらかじめ一時停止ボタンと録音ボタンを押込んでおいて、録音を始めたい瞬間に一時停止ボタンを解除すると、タイミングよく録音がスタートします。

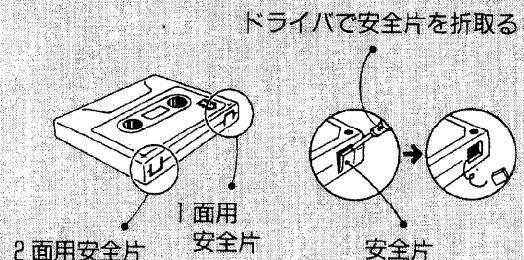
- 録音や再生中に、一時停止ボタンを押込んだまま長時間放置しないでください。(電源は切れていません)必ず停止/カセット取出しボタンを押して、電源を切ってください。

ノーマルタイプのカセットテープを使用してください。クロームタイプやメタルなど他のテープを使用しますと、それらのテープの性能を十分発揮できないほか、再録音時、前回の録音が残ることがあります。

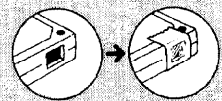
●C-120テープはできるだけ使わないで!

C-120テープは伸びたり、機械に巻込んだりしやすいので、長時間の録音時以外は、できるだけ使用しないでください。(詳細は、テープに同封の注意書をお読みください。)

■大切な録音を誤って消さないために安全片を折取って、大切な録音をお守りください。



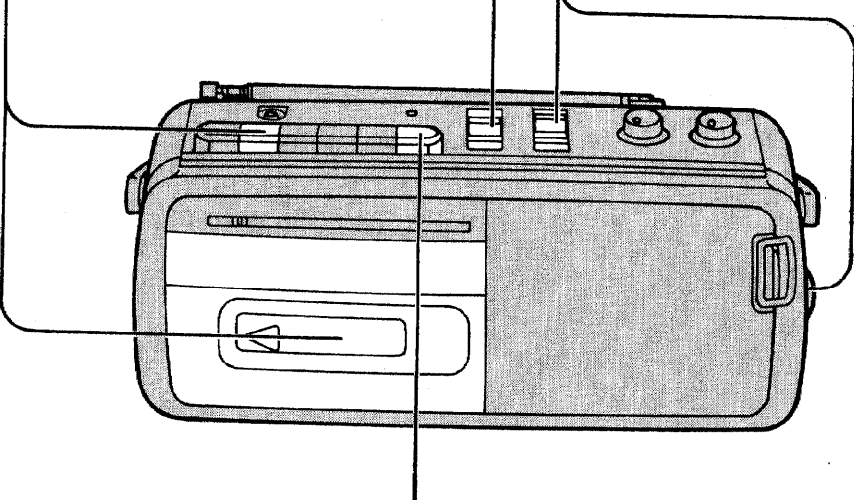
- 再び録音したいときセロハンテープをはってください。



録音するには

ラジオ・TVサウンドを録音するには

ボリュームつまみの位置に関係なく、録音レベルは一定です。(自動録音レベル機能)

- 1 安全片のついたカセットを入れます。
・リーダーテープ部分は、あらかじめ巻取っておきます。
 - 2 “ラジオ”にします。
(電源/電池インジケータが点灯します。)
 - 3 録音したいラジオ・テレビ放送を**選局**します。(P.6ページ)
 - 4 録音ボタンを押込みます。
再生ボタンも同時に押込まれ、録音が始まります。
- 

- 録音を止めるときは、停止/カセット取出しボタンを押します。
- ・ AM放送を録音するときは、本機後面のビートブルーフスイッチ(P.5ページ)を使ってビート音や雑音(ノイズ)が少なくなる方(ⅠまたはⅡ)に切換えてください。

モニタのしかた

モニタとは、録音している音を同時にスピーカーやイヤホンで聞くことです。ボリュームつまみで適当な音量に調整してください。

マイク録音するには

カセットを入れて、番号順に操作してください。

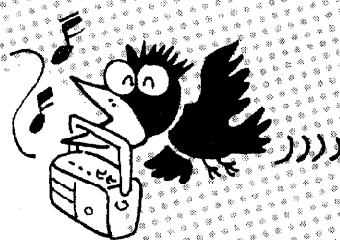
- 1 動作切換スイッチを“テープ/電源切”にします。
- 2 録音ボタンを押込みます。

●内蔵マイクから録音する場合は、ハウリング（ピーという音）を防ぐため、モニタはできません。

SP
EP

録音した音を消すには

新しく録音するとテープに録音されている音は自動的に消され、新しい録音のみが残ります。



RP OA14

お手入れのしかた

■ヘッド部のクリーニング(約10時間ごと)

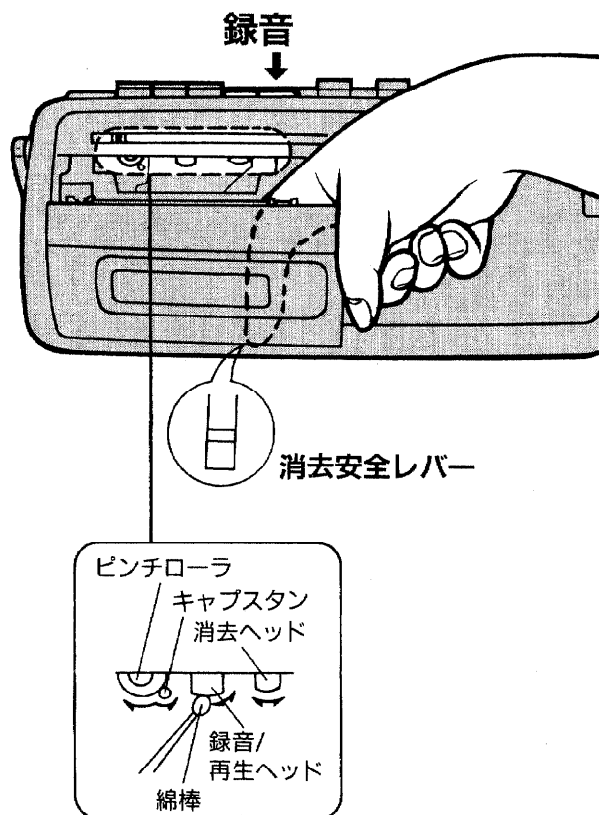
録音/再生ヘッドやピンチローラは、性能を維持するためにいつもきれいにするように心がけてください。

1 停止/カセット取出しボタン

を押して、カセットふたを開けます。

2 消去安全レバーを押さえながら、録音ボタンを押込みます。

3 綿棒かヘッドクリーニングキット (RP-919, 別売り) でクリーニングをしてください。



■キャビネットのクリーニング

乾いた布でふいてください。汚れがひどいときは水で布をしめらすか、石けん水を少し布につけ、よくしぼってふき、あとはからぶきしてください。

- 本機には絶対に注油しないでください。注油しますと故障の原因になることがあります。
- ヘッドにドライバなどの鉄類や磁気を帯びたものを近づけないでください。性能が悪くなります。
- ピンチローラやキャブスタンをふくときは、綿棒などを巻込まないようにご注意ください。

- ベンジンやアルコール、シンナーなどの溶剤でふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。
- 化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させたままにしておきますと、変質する場合がありますので、使用しないでください。

電源の注意

本機は、家庭用電源と、乾電池(別売り)で使える2電源方式です。

電源1 家庭用電源で使用するとき

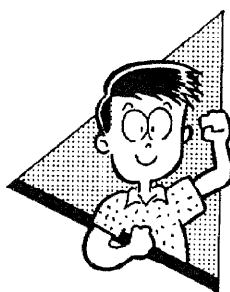
電源コード(付属)を接続すると、自動的に家庭用電源に切り替わります。

(P2ページ)

長期間使用しないときは、動作切換スイッチを“テープ/電源切”にし、電源コードをコンセントから抜いてください。

動作切換スイッチを“テープ/電源切”にただけでは、約1.5Wの電力を消費しております。

- 電源コードを使用しないときは、必ずコンセントとAC IN ジャックから、電源コードを抜いておいてください。
- 乾電池電源に切り替えるときは、必ず本機側のプラグを抜いてください。そのままでは乾電池電源に切り替わりません。

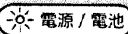
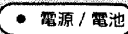


電源2 乾電池で使用するとき

乾電池の入れかたは、“電源”(P2ページ)をご覧ください。

■乾電池の取替時期は

電源 / 電池インジケータの点灯状態でわかります。

 電源 / 電池 明るく点灯している	乾電池は正常ですからそのまま使用できます。
 電源 / 電池 消えている (点灯しているが暗い)	乾電池は消耗していますから全部新しいものと交換してください。

- 長時間続けて使用するより、1~2時間使用したのち、電源を切って、しばらく間をおきますと乾電池の寿命を延ばすことができます。
- 長時間続けて使用するときは、できるだけAC電源をご使用ください。新しい乾電池以外は途中で乾電池が消耗してテープ部が正常に動作しないことがあります。

乾電池使用上のご注意

- 長時間使用しないときや、いつも家庭用電源で使用するときは、乾電池の漏液による損傷を防ぐため、乾電池を取出しておいてください。
乾電池は使いかたを誤ると破裂や破損、液もれのおそれがあります。次のことは必ずお守りください。
- 新しい乾電池と使用した乾電池は混用しないでください。
- 乾電池は充電式ではありません。
- ⊕プラスと⊖マイナスは正しく入れてください。
- 同じ種類の乾電池を使用してください。
- 火の中への投入や、ショート(短絡)、分解、加熱などをしないでください。
- 使用しないときは電源を確実に切ってください。

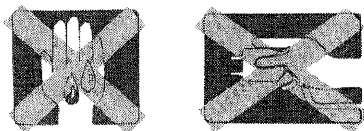
安全使用のために

AC電源で使うときは、必ずAC(交流)100Vでお使いください。



電源プラグの抜き差しは

- 必ず電源プラグを持って行なってください。
- また、ぬれた手で抜き差ししますと、感電するおそれがあり、非常に危険です。



電源コードにも注意

(火災や感電事故防止のために)

- 電源コードの傷、断線、プラグの接触不良にお気づきのときは、使用を中止し早めにお求めの販売店にご相談ください。
- 無理に折曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、継ぎたすなどの加工は絶対にしないでください。

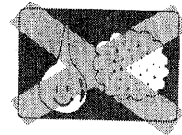


- 本機内部には絶対に触れないでください。

改造したり、不用意に内部を触ると、感電や故障の原因になります。

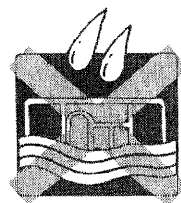
- 内部に金属類(針、ヘアピンなど)を差込むと感電や故障の原因となります。

風呂場など湿気の多い所やほこりの多い所では使用しないでください。



本機に水がかかったとき

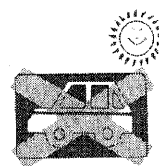
ただちに使用を中止して、お求めの販売店にご相談ください。そのまま使用すると火災や感電のおそれがあり、大変危険です。



高温になる所に放置しないでください。

夏季の閉めきった自動車内(100℃にも達することがある)や、長時間直射日光の当たる所、暖房器などの近くで使用したり、放置しないでください。

60℃以上の高温になると、キャビネットが変形・変色したり、故障することがあります。



落雷にご注意

野原などで落雷の危険性があるときは、アンテナをたたんで使用を中止してください。



故障!?と思う前に

修理を依頼する前に、もう一度次のことを確認したのち、それでもなお異常の場合には、購入店へご相談ください。

!? テープが走行しない。
(回転しない。)

- 乾電池(単一形)が正しく入っていますか?
- 乾電池が消耗していませんか?
- 乾電池の電源に切換えるとき電源コードのプラグを本体から抜いていますか?

!? 操作ボタンを押しても正常に動作しない。

- 乾電池が消耗していませんか?
- カセットふたが確実に閉まっていますか?
- カセットが正しく入っていますか?

!? 早送り・巻戻しが遅い。
(回転ムラ)

- 乾電池が消耗していませんか?
- カセットテープの回転が重くありませんか?

!? 再生音が小さい、録音・再生音が割れる。高音が出ない。

- 乾電池が消耗していませんか?
- ヘッド部が汚れていませんか?

!? 録音ができない。

- カセットが入っていますか?
- カセットの安全片がついていますか?

!? カセットふたが開かない。
(カセットが取出せない)

- 新しい乾電池に取替えた後、再度操作してください。

- 本機を他のラジオやテレビなどの電気機器の近くで使用すると、互いに干渉しあって雑音が入ることがあります。
- 本機を0℃前後から暖かい場所へ急に移したとき、正常に動作しないことがあります。これは、本機の動作部に露が発生したためで、60分程で正常に戻ります。

アフターサービスについて

保証書(別に添付してあります。)

保証書は必ず「販売店名・購入日」等の記入を確かめて販売店から受取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間—ご購入日から1年間。

修理を依頼されるとき

“故障!?と思う前に”の項に従って調べていただき、直らないときには、次の処置をしてください。

● 保証期間中は

おそれ入りますが、製品に保証書を添えて、お求めの販売店までご持参ください。保証書の規定に従って販売店で修理させていただきます。

● 保証期間が過ぎているときは

お求めの販売店に、まずご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の最低保有期間は、製造打切後6年です。

この期間は通商産業省の指導によるものです。

アフターサービス等について、

おわかりにならないとき

お求めの販売店または最寄りの「ご相談窓口」(別紙ご参照)にお問合わせください。

定格

〈ラジオ部〉

受信周波数：FM/TV1~3CH
；76-108MHz
AM：525-1605kHz

〈テープレコーダ部〉

トラック方式：モノラル
録音方式：ACバイアス
消去方式：マグネット消去
モニタ方式：バリアブルサウンドモニタ
周波数範囲：70~10,000Hz(EIAJ)

〈共通部〉

スピーカ：10cm丸形8Ω1個
出力端子：イヤホン；φ3.5mm
実用最大出力：1.8W(EIAJ)
(DC時)

電池持続時間：約33時間(EIAJ録音時)
約24時間(EIAJ音楽再生時)
(Vol.8付近)
(別売り乾電池
パナソニックネオブラック
R20P使用時)

電源：AC：100V,50/60Hz
乾電池：DC6V
(単一形乾電池×4個)

消費電力：AC7W
最大外形寸法：309(W)×137(H)×117(D)mm
(EIAJ)

重量：約1.5kg(乾電池を含まず)
約1.9kg(乾電池を含む)

付属品：ACコード

★この定格は性能向上のため変更することがあります。

動作切換スイッチ“テープ/電源切”時の
消費電力……………約1.5W(ACのとき)

便利メモ(おぼえのため、記入されると便利です。)

ご購入年月日	年 月 日	品番	RX-M50
ご購入店名	電 話 () —		
最 寄 り の ご 相 談 窓 口	電 話 () —		

松下電器産業株式会社 オーディオ事業部

☎571 大阪府門真市松生町1番4号 ☎(06)909-1021

RQT0296-S
F1189G0